

2014/12/24

コラーゲンペプチドによる皮膚のバリア機能及び保湿性改善に関する論文が 国際誌(Biochem. Biophys. Res. Commun. Online版)に掲載されました

城西大大学 薬学部 清水純先生、真野博先生との共同研究成果

Pro-Hyp(アミノ酸のプロリンとヒドロキシプロリンが結合したジペプチド)とHyp-Gly(アミノ酸のヒドロキシプロリンとグリシンが結合したジペプチド)は、弊社製コラーゲンペプチド由来のジペプチドの主要成分です。

今回の研究では、コラーゲンペプチドによる皮膚のバリア機能及び保湿性への効果の検討を目的に、皮膚バリア機能低下モデルマウスにPro-HypとHyp-Glyを35日間、経口投与しました。

その結果、Pro-HypとHyp-Glyは皮膚のバリア機能及び保湿性の改善に寄与することが解りました。また、この皮膚組織の遺伝子解析により、筋肉関連の遺伝子発現が上昇したことから、筋肉へも寄与していることが示唆されました。

詳しい内容に関しては <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/25498544> を参照ください。